

成果連動型民間委託契約方式の推進に向けた取組

東海財務局及び管内財務事務所は、地域における**成果連動型民間委託契約方式(PFS/SIB)※**を推進するためWebセミナーを開催。制度概要や導入方法、先進事例などを紹介。

※PFS:国又は地方公共団体等が民間事業者へ事業委託等する際に、事業成果に基づいて、事業者の報酬額(支払)を変動させる仕組み。

SIB:PFS事業を受託した民間事業者が、金融機関等の資金提供者から事業資金を調達し、その返済等を地方公共団体からの支払額等に応じて行う仕組み。

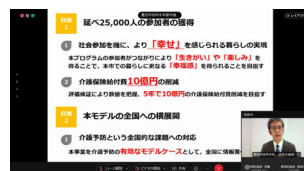
概要

- 岐阜財務事務所は岐阜・静岡財務事務所管内の地方公共団体、地域金融機関向けに、**PFSに関する情報共有や相互の協力を進める**ことを目的に「ぎふPFSセミナー」を開催。PFS/SIBの支援実績を多数持つケイスリー(株)の代表取締役兼CEO幸地正樹氏による説明後、質疑応答を実施。
- 東海財務局及び管内財務事務所は、**複雑化する地域の社会的課題の解決の一助**となることを目的に「PFS/SIB活用セミナー」を開催。先進的な取組を行っている愛知県豊田市の担当者や、内閣府の制度担当者による説明後、質疑応答を実施。

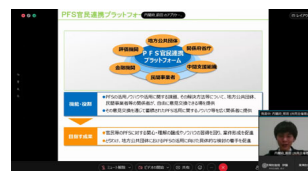
セミナー開催に際し、本局、事務所が連携し組織一体で対応。



【ぎふPFSセミナーの様子】



【PFS/SIB活用セミナーの様子】



取組の成果

- 参加者アンケートの結果、**3団体から、導入時には詳細情報を提供してほしい等のニーズを確認**。今後、必要に応じてサポートを実施予定。
- 地方公共団体、金融機関向けに**YouTubeによる配信**を実施。再視聴のニーズに対応。
- 豊田市の取組を財務省広報誌ファイナンスで紹介。**先進事例を全国に情報発信**。

【セミナー参加者の声】

- ・こうした取組を知らなかったので大変参考になった。
- ・具体的な事例を含めた仔細な説明があり、大変勉強になった。
- ・市内外にどのように理解を広めるかが最初の課題。
- ・基本的な説明からしていただき、初めてセミナーを受講した立場としてすごく分かりやすかった。
- ・豊田市の事例の進め方を直接聞いたので非常に参考になり、自治体担当者として良かった。
- ・金融機関に期待されていることや具体的な取組事例があれば紹介してほしい。

国公有財産の最適利用による「まちづくり」への貢献

東海財務局は、「まちづくり」への貢献に向けて、地域ニーズの把握・知見向上に努めるため、地方公共団体などの関係機関と連携し、勉強会や意見交換会を実施。

概要

- 地方公共団体においては、少子高齢化に加えて、人口流出への対応が求められる中、**公有地の有効活用を通じた「魅力あるまちづくり」**は重要課題の一つである。
- 「まちづくり」には、各種制度に対する知見や創意工夫が求められており、**財務局は国有財産の有効活用を通して、地方公共団体への支援が可能**である。
- 東海財務局では、関係機関と連携して地域ニーズを把握するとともに、国の施策を紹介するなど、互いの知見を向上させ、今後の課題解決に資するよう、「まちづくり」に向けた取組を進めている。

東海財務局

連携

地方公共団体
UR都市機構・金融機関 等

- ①地域ニーズの把握
- ②国公有財産の活用方法を検討
- ③知見の向上・ノウハウの習得



「まちづくり」への貢献

取組の成果

- 岡崎市との国公有財産に関する勉強会**
 - ・「**敷地主義からエリア主義へ**」をテーマに、「エリア」を意識した土地の活用方法を学習。
 - ・同市が整備予定である市有地の活用方法をテーマに、グループワークを実施。
 - ・サウンディングや官民対話の急所について学習。
- UR都市機構中部支社との意見交換会**
 - ・留保財産を題材に、**地域ニーズの把握や掘り起こし**について意見交換を実施。
 - ・市街地再開発事業も含め、UR都市機構が実施した具体的なまちづくり事例を題材に勉強会を実施。



【グループワークの様子】



【意見交換の様子】

- 今後の展開
 - ・こうした関係機関との連携を通して、知見・知識を向上させ、国公有財産の最適利用に向けて財務局ができる「まちづくり貢献」のアウトリーチを拡大していく。

地域課題を踏まえた地域金融機関向けセミナーの開催

今後の東海地域の課題となる自動車産業の変革や「脱炭素」に向けた動きについて、地域金融機関により深く理解してもらうため、当分野に精通する関係省庁等の担当者を講師としたオンラインセミナーを開催。

概要

- 東海地域は我が国における自動車産業の集積地。多くの事業者は電動化を中心とした「脱炭素」対応のため大きな転換・変革が求められている。こうしたなか、東海財務局は、関係省庁に呼びかけ以下のセミナーを開催。

①「自動車産業の変革を見据えた今後の取組み」(R3.10)

講師:中部経済産業局

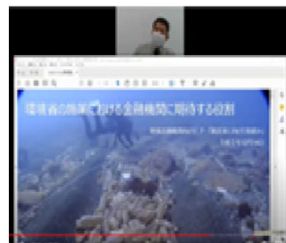
内容:CASE、MaaSやカーボンニュートラルの実現など100年に一度の大変革といわれる自動車産業の動向。また、自動車産業が集積する東海地域の事業者に今後どのような対応が求められるのか。



②「脱炭素」に向けた取組み」(R3.12)

講師:中部環境事務所、環境コンサルタント

内容:世界が「脱炭素」へと向かう中、金融機関にどのような取引先支援が求められ、自身もこの新たな成長分野をどう掴んでいくのか。



取組の成果

- タイムリーかつ東海地域の産業構造を踏まえた課題について、地域の事業者と接する機会が多い金融機関担当者が、各分野に精通する省庁担当者等から説明を受けることで、**より顧客企業に寄り添った支援に繋がることを期待。**
- また、オンラインやYouTubeを活用することで、受講人数制限を廃止し、当日視聴できなかった金融機関の担当者も適宜のタイミングで視聴できる機会を付与するなど、参加者側の利便性にも配慮。

I. 当セミナーの参加実績(番号は左記参照)

当日の参加者数 :① 44機関 192名 ② 49機関 192名
YouTube再生回数:① 82回再生 ② 103回再生

II. 参加者の声

- ・これまで新聞等で断片的に得ていた情報を、講師のコンパクトかつ網羅された説明により整理することができた。
- ・「脱炭素」の全体像と時間軸、また「見える化」に向けた早期対応する必要性が理解できた。中小企業への脱炭素に関するアプローチ方法が学べた。

地域主体との地域経済情勢及び課題の共有

東海財務局及び管内財務事務所は、経済調査機能を有する地域主体との意見交換会を継続的に実施。地域経済の状況や課題などの最新情報について共有。

概要

○東海財務局及び各財務事務所は、**地域経済情勢について地域へ情報発信するとともに、最新の地域経済の状況や課題を把握**するため、経済調査機能を有する地域の経済団体・シンクタンクなどと継続的に意見交換会を実施。

○意見交換会の概要

中小企業家同友会との意見交換会 (愛知、岐阜、静岡、津)

・コロナ禍で影響を受けた事業者の状況について

シンクタンクとの意見交換会 (愛知、静岡、津)

・最新の地域経済の状況について

しずおか経済フォーラム (静岡)

・緊急事態宣言の期間中や解除後の県内の経済動向について

景気問題連絡会 (岐阜、津)

・県経済の現状と課題について

※()内は対象地域を記載



中小企業家同友会との意見交換会



しずおか経済フォーラム

取組の成果

○意見交換会は地域の実情や生の声が聴けるほか、財務局の情報発信もできる貴重な機会。**地域の関係者との深い信頼関係の構築**に寄与。

代表事例「愛知中小企業家同友会との意見交換会」

テーマ：**中小企業の課題全般について**

意見交換会では、**原材料不足や人材不足、ウッドショック**などの懸念事項や、**事業者支援における金融機関の役割**など、多岐にわたる意見を交換。



意見交換会で聴取した質疑(改正銀行法の趣旨)を踏まえ、後日、理事向けのWeb勉強会を開催。金融庁施策の理解をより深めて頂く機会につながった。

○今後も引き続き、地域が抱える課題の把握と解決に向け、意見交換会を継続的に実施していく。

スタートアップ支援に向けた取組

東海財務局は、「産官学金」のつなぎ役となり、「TOKAIスタートアップセミナー」を開催。地域関係者が一丸となって東海地域のスタートアップ※支援を展開。

※スタートアップ:先進的な技術等を強みに新たな市場開拓・ビジネスモデル創出に挑戦する成長速度の早い企業やプロジェクト

概要

○背景

- 東海地域の主要産業である自動車産業では電動化や自動運転などの転換期を迎えており、スタートアップとの共創やオープンイノベーションの必要性が高まっている。
- 令和2年7月、愛知・名古屋・浜松地区がスタートアップ・エコシステムの「グローバル拠点都市」に認定。東海地域のスタートアップ機運が高まっている。

○課題

- スタートアップ支援を通じた地域経済活性化には地域金融機関の支援等が不可欠。

- 東海財務局が「つなぎ役」となり、「産官学金」の連携を推進。

東海地域の
地域金融機関
(地域銀・信金等)

(つなぎ役)
東海財務局

「産官学金」が一丸となり東海地域のスタートアップ支援を展開

様々な関係機関が一堂に会し、意見交換等を経て協力体制をより強固なものとする。

取組の成果

- 令和3年5月21日、TOKAIスタートアップセミナー開催

- 47地域金融機関が参加。
- 主催者の東海財務局長から地域一丸での支援の必要性等を発信。
- 地域金融機関に求める支援や一部の地域金融機関による個別の取組内容などを共有。

《参加者意見》

- スタートアップ支援について今後ますます注力していきたいので、また今回のような機会を頂戴したい。
- セミナーを機にパネリストの方と連携していきたい。

- 今後、必要に応じて参加者を拡大するなど、更なる発展を目指して継続的に開催していく予定。
- 次回セミナーのプログラム内容の充実に向けて、関係者と緊密に意見交換等を実施。



TOKAI
スタートアップセミナー
～東海地域のスタートアップ・エコシステムを知る～

東海地域におけるスタートアップの機運の高まりを受け、当地域でスタートアップ・エコシステムを形成する行政、大学、経済団体、金融機関等からそれぞれの施策や取組等をご紹介頂きつつ、連携体制の構築・深化に資するセミナーを開催します。
今後、情報交換や交流の場としてもご活用いただきたく、地域金融機関皆様のご参加をお待ちしています。

日時	開催形態
2021年5月21日(金) 13:00-15:00	オンライン (Zoom)

対象
東海4県(愛知、岐阜、三重、静岡)
の地域金融機関(地銀、信金等)

第1回プログラム

- ・主催者挨拶(東海財務局長、名古屋市長、名古屋大学副総長)
- ・スタートアップ支援施策等紹介(名古屋市長、名古屋大学、愛知県)
- ・スタートアップ支援状況紹介(愛知県内地域金融機関4行連)
- ・オープンイノベーション促進税制等説明(中部経済産業局)
- ・質疑応答

全ての金融機関の気づきに！